

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月12日

上場会社名 青木あすなろ建設株式会社  
 コード番号 1865 URL <http://www.aaconst.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市木 良次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 角田 稔  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 03-5419-1011

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	50,331	—	△478	—	△376	—	△411	—
20年3月期第2四半期	48,998	△12.3	283	△77.5	216	△80.1	105	△93.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△6.65	—
20年3月期第2四半期	1.68	1.68

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	116,843	54,953	44.3	837.55
20年3月期	97,280	56,745	55.1	864.62

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 51,805百万円 20年3月期 53,624百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	15.0	2,200	57.6	2,600	81.8	1,900	114.0	30.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 1社(社名 みらい建設工業株式会社) 除外 1社(社名 )  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 63,600,000株 20年3月期 63,600,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,747,020株 20年3月期 1,579,020株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 61,867,397株 20年3月期第2四半期 62,857,399株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

当社は、平成20年9月10日付で、みらい建設工業株式会社、みらいジオテック株式会社の第三者割当増資を引き受け、同社を当社の連結子会社といたしました。また、同日付で当社の子会社である青木マリーン株式会社も、テクノマックス株式会社の第三者割当増資の引き受けにより、同社を連結子会社といたしました。

ただし、当該子会社のみなし取得日を第2四半期連結会計期間末日としたため、当第2四半期連結会計期間においては、当該子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結していません。

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油及び原材料価格の高騰により企業収益が悪化、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安により株価や為替相場にも混乱を招くなど、景気の先行きには後退懸念が強まっております。

建設業界におきましては、公共投資は引き続き減少傾向にあり、民間投資につきましても建設資材の高騰による企業収益の悪化や、金融市場の混乱等により、民間建設投資に一層の慎重さが見られるなど業界をとりまく環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間における売上高は、50,331百万円となりました。利益面につきましても、一般管理費の一層の削減に努めましたが、営業損失478百万円、経常損失376百万円、四半期純損失411百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動要因があります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

資産合計の残高は、前連結会計年度末に比べ19,562百万円増加し、116,843百万円となりました。

その主な要因は、連結子会社の増加に伴い、未成工事支出金、受取手形・完成工事未収入金等が増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

負債合計の残高は、前連結会計年度末に比べ21,354百万円増加し、61,890百万円となりました。

その主な要因は、連結子会社の増加に伴い、支払手形・工事未払金等及び未成工事受入金が増加したこと、並びに負ののれんが発生したことによるものであります。

#### (純資産の部)

純資産合計の残高は、配当金の支払、四半期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,791百万円減少し、54,953百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、下表の通り修正を行っております。

詳細につきましては、本日付で公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	128,000	2,200	2,100	1,900
今回修正予想 (B)	143,000	2,200	2,600	1,900
増減額 (B - A)	15,000	—	500	—
増減率 (%)	11.7	—	23.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	124,298	1,395	1,430	887

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

###### ①連結の範囲の変更

前頁に記載の通り、当社は、みらい建設工業株式会社、みらいジオテック株式会社及びテクノマリックス株式会社を当第2四半期より連結子会社といたしました。

これに伴い、当社の連結子会社数は3社増加の7社となりました。

なお、みらい建設工業株式会社は、当社の特定子会社に該当いたします。

###### ②変更後の連結子会社の数

7社

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①簡便な会計処理

###### (一般債権の貸倒見積高の算定方法)

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したのものと著しく変動していないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法によっております。

###### (棚卸資産の評価方法)

棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

###### (固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### (繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成し、「建設業法施行規則」（建設省令第14号）に準じて記載しております。

###### ②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を当連結会計年度から適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	14,598	14,859
受取手形・完成工事未収入金等	63,578	58,316
販売用不動産	3,728	558
未成工事支出金	7,660	2,224
未収入金	6,091	4,497
繰延税金資産	756	924
その他	2,777	984
貸倒引当金	△321	△167
流動資産合計	98,868	82,197
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,146	1,076
機械・運搬具及び工具器具備品（純額）	597	358
船舶（純額）	945	1,057
土地	3,938	3,815
有形固定資産計	6,628	6,308
無形固定資産		
投資その他の資産	136	115
投資有価証券	4,091	3,648
長期貸付金	59	47
破産債権、更生債権等	231	266
長期末収入金	9,105	361
繰延税金資産	3,018	3,089
その他	2,684	2,216
貸倒引当金	△7,980	△971
投資その他の資産計	11,209	8,658
固定資産合計	17,974	15,082
資産合計	116,843	97,280

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,078	22,728
短期借入金	3,910	930
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	163	216
未成工事受入金	8,500	3,961
完成工事補償引当金	250	183
工事損失引当金	378	242
賞与引当金	872	663
その他	3,625	2,873
流動負債合計	46,979	31,998
固定負債		
社債	150	200
長期借入金	151	211
再評価に係る繰延税金負債	368	371
退職給付引当金	9,330	7,423
船舶特別修繕引当金	52	40
負ののれん	4,408	—
その他	449	290
固定負債合計	14,910	8,536
負債合計	61,890	40,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	23,766	23,766
利益剰余金	24,659	26,000
自己株式	△1,224	△1,132
株主資本合計	52,200	53,634
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△395	11
繰延ヘッジ損益	—	△20
評価・換算差額等合計	△395	△9
少数株主持分	3,147	3,120
純資産合計	54,953	56,745
負債純資産合計	116,843	97,280

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売上高	50,331
売上原価	47,650
売上総利益	2,680
販売費及び一般管理費	3,159
営業損失(△)	△478
営業外収益	
受取利息	27
受取配当金	51
その他	58
営業外収益合計	136
営業外費用	
支払利息	19
係船舶減価償却費等	7
その他	8
営業外費用合計	34
経常損失(△)	△376
特別利益	
前期損益修正益	62
固定資産売却益	88
関係会社株式交換益	274
その他	27
特別利益合計	452
特別損失	
投資有価証券評価損	71
その他	44
特別損失合計	115
税金等調整前四半期純損失(△)	△39
法人税、住民税及び事業税	81
法人税等調整額	241
法人税等合計	322
少数株主利益	49
四半期純損失(△)	△411

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成20年9月30日)

売上高	27,196
売上原価	25,708
売上総利益	1,488
販売費及び一般管理費	1,621
営業損失(△)	△133
営業外収益	
受取利息	17
その他	18
営業外収益合計	36
営業外費用	
支払利息	10
その他	9
営業外費用合計	19
経常損失(△)	△116
特別利益	
投資不動産売却益	12
その他	3
特別利益合計	16
特別損失	
投資有価証券評価損	71
その他	44
特別損失合計	115
税金等調整前四半期純損失(△)	△214
法人税、住民税及び事業税	26
法人税等調整額	223
法人税等合計	250
少数株主損失(△)	△25
四半期純損失(△)	△439

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成し、「建設業法施行規則」（建設省第14号）に準じて記載しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る連結財務諸表等

## (1) 前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	
I 売上高		48,998	100.0
II 売上原価		45,432	92.7
売上総利益		3,565	7.3
III 販売費及び一般管理費		3,282	6.7
営業利益		283	0.6
IV 営業外収益			
受取利息	40		
受取配当金	22		
その他	32	95	0.2
V 営業外費用			
支払利息	31		
販売用不動産評価損	17		
持分法による投資損失	98		
その他	16	162	0.4
経常利益		216	0.4
VI 特別利益			
前期損益修正益	32		
固定資産売却益	53		
投資有価証券売却益	1		
その他	14	101	0.2
VII 特別損失			
固定資産除却損	10		
投資有価証券評価損	69		
その他	12	93	0.1
税金等調整前中間純利益		224	0.5
法人税、住民税及び事業税	89		
法人税等調整額	2	92	0.2
少数株主利益		27	0.1
中間純利益		105	0.2

## (2) 受注高、売上高の状況

## 1. 連結受注高、売上高の状況

(単位：百万円・%)

		前第2四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当第2四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率
受注高	建築	28,313	42.3	21,124	45.4	△7,188	△25.4
	土木	38,553	57.7	25,389	54.6	△13,163	△34.1
	計	66,866	100.0	46,513	100.0	△20,352	△30.4
売上高	建築	19,847	40.5	22,561	44.8	2,714	13.7
	土木	29,151	59.5	27,769	55.2	△1,381	△4.7
	計	48,998	100.0	50,331	100.0	1,332	2.7

## 2. 個別受注高、売上高の状況

(単位：百万円・%)

		前第2四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当第2四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率
受注高	建築	28,313	56.1	21,124	62.2	△7,188	△25.4
	土木	22,181	43.9	12,828	37.8	△9,352	△42.2
	計	50,494	100.0	33,952	100.0	△16,541	△32.8
売上高	建築	19,847	53.8	22,561	59.3	2,714	13.7
	土木	17,037	46.2	15,475	40.7	△1,562	△9.2
	計	36,884	100.0	38,036	100.0	1,151	3.1